

第30回委員会会議結果概要(案)

開催概要	
日時	平成22年5月28日(水) 17時30分～19時10分
場所	千葉県国際総合水泳場
参加者数	45名
出席委員	16名(遠藤茂勝、工藤盛徳、倉阪秀史、榊山勉、及川七之助、中村泰利、竹川未喜男、三橋福雄、後藤隆、佐々木洋晃、松崎利光、田草川信慈(代理:東条等)、赤塚稔、大林正章、大野二三男、齋藤甚一) :委員長
結果要旨	
<p>報告事項</p> <p>護岸検討委員会設置要綱・委員紹介 事務局から資料1により報告</p> <p>第29回委員会の開催結果概要 事務局から資料2により報告</p> <p>2丁目春季モニタリング調査の結果概要 事務局から資料3により報告</p> <p>1丁目護岸構造の検討結果について 事務局から資料4により報告 (まとめ) <u>第2案を基本として考え、バリエーション等の詳細については、今後の委員会で議論することを確認した。</u></p> <p>議題</p> <p>平成22年度護岸検討委員会開催予定について 資料5により事務局から説明があり、質疑応答が行われた。 [主な意見及び対応] ・開催回数がかかなり多いと感じる。委員の負担を減らすためにも1丁目だけ、2丁目だけで開催するのではなく、可能な範囲で開催回数を減らすよう配慮して欲しい (まとめ) <u>事務局において、可能な範囲で検討していくことで了承された。</u></p> <p>2丁目(1期)護岸バリエーションについて 資料6により事務局から説明があり、質疑応答が行われた。 [主な意見及び対応] ・公園の位置は合意されているのか。また、区画整理により駅に近いところは民有地、海に近いところは市有地になることは合意されているのか。 市川市回答 公園の位置はほぼ確定している。また、民有地、市有地の位置は概ね合意されている。</p>	

- ・公園の前は、バリエーションを考える必要がある区間である。また、地元の意見を反映させるべきであると思う。11月までに意見をまとめることは困難であると思うので、平成23年度の施工位置をずらして検討期間を長くすることはできないか。

事務局回答

施工位置をずらすことは技術的に可能と思われる。しかし工費が高くなる可能性がある。

- ・平成22年に施工するバリエーション区間(50m)はいつ頃完成するのか。完成したのを見て、公園前のバリエーションを検討することは可能なのか。

事務局回答

平成22年度に実施するバリエーション区間の工事完成は年明けになる予定である。

このことから、当方で予定している11月までの検討期間の期限には間に合わない。

- ・公園の前は、例えば入り江を作るなど、大胆なバリエーションを考えるべきである。
- ・公園前の護岸バリエーションを検討するために工事が遅れてしまうことは反対である。
- ・平成23年度の工事を西側から施工することとしてはどうか。
- ・バリエーションを付ける箇所は重点配分した方がよく、それは公園、自然再生の部分であると考え。それ以外の区間は標準断面とすべきである。

(まとめ)

バリエーションについては、引き続き検討することとする。

バリエーション区間以外は、標準断面での施工を基本とすることです承された。

バリエーション検討に伴う工事の施工箇所(順序)の変更について、課題等を整理することとする。

傍聴者からの意見

- ・1丁目で実施する影響評価について、2丁目で行っていたものと同じように影響を予測するようにしてほしい。
- ・バリエーションを検討するにあたり、護岸は現計画より前に出さないでほしい。